

台湾石油化学工場で火災 - 西日本防災システム

2012年4月7日 台湾の高雄にある石油化学工場で爆発・火災事故が発生しました。高雄のCPC社(台湾中油)の工場で、4月7日午前3時頃ブタジエンのタンクが爆発し火災となりました。

爆発は午前3時12分に発生し、鎮火されるまで5時間以上に亘り工場内で火災が続きました。この事故による負傷者、死者の報告は現在のところ無いそうです。しかし周辺住民は大きな爆発事故に会社の安全管理について不安を募らせ、石油化学サプライチェーンへの影響を心配しているとのこと。CPC社はこの事故による環境への汚染は確認されていないと発表しています。

この事故を受けてこの地区の石油コンビナートのプラントが操業を停止することになり高雄市長はCPC社に最も重いペナルティーを課すよう指示をしたらしいです。南部地区の市環境当局は同社に対して環境への大きな影響を与えたとして100万台湾ドル(約276万円)の罰金を課したようです。

近隣の方は怖かったでしょうね。死傷者が無かったことは不幸中の幸いでしたが日本にも同様のコンビナートがたくさんあります、お気をつけ下さい。



映像はインターネットより転載



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>